

森林資源保護の推進（拡充）

<森林づくり交付金ソフト>

1 趣 旨

近年、農山村地域における過疎化・高齢化等に伴う農林業生産活動の低下や狩猟による捕獲圧の低下等を要因として、シカ、クマ等の野生鳥獣による森林被害が深刻化している。

野生鳥獣による森林被害対策については、防護柵の設置等の防護措置と捕獲等の個体数調整を組み合わせた持続的な対策を実施しているところであるが、野生鳥獣の主たる生息場所である森林の環境を整備し、野生鳥獣との共生を図っていくことも重要な課題となっている。

このような中で、森林の有する多面的な機能に対する国民の関心がますます高まっており、全国各地で草の根レベルのNPO等による多様な森林づくり活動を推進する気運が醸成されているところである。

このため、生息環境に配慮した野生鳥獣被害対策を推進する観点から、森林所有者等地域関係者のコンセンサスを得つつ、NPO等による里山等での広葉樹の植栽、刈払いの促進など生息環境を制御・誘導するための森林づくり活動を進めていくこととする。

2 事業内容

シカ、クマ等による森林被害を防止する観点から、NPO等の市民団体が、里山などの森林被害箇所等において、森林所有者等地域関係者との合意に基づいて行う、野生動物の生息環境を制御・誘導するための森林づくり活動（①広葉樹の植栽、②雑草の刈払い、③人工林の抜き伐り、④地かきなどの林内地床整理等）を支援する。

3 事業実施主体 都道府県、市町村等

4 交 付 率 定額（1／2）

5 事業実施期間 平成17年度～平成21年度（5年間）

6 平成18年度概算決定額 森林づくり交付金
3,695,468千円の内数（4,431,000千円の内数）

【林野庁研究・保全課森林保護対策室】